



定期総会延期



東京川西会々長
森田 光雄
(大塚)

東日本大震災から10年経過しました。当日、私は仕事で横浜方面に出かけていたのですが、電車が動いたのが深夜で、結局住まいの八王子に帰宅したのが翌日の朝5時頃でした。その日の夕方は当会の理事会開催日でしたが、1週間延期になった想い出があります。

当会でも町主催の「黒べこ祭り」に参加する際に、被災地の一部を巡り、バスの中からでしたが被害のすごさの一端を垣間見ることができました。今、映像で流れる津波を見ると、本当にその恐ろしさ、自然の恐ろしさを実感します。被災地では、目に見える形で復興の足跡が感じられることも多いのですが、本当の復興は、帰りたい人が自分の住んでい

たところに帰れることではないでしょうか。一日も早くそうなることを祈らずにはいられません。

さて、今年の総会ですが、この状況下では開催できないと判断し、延期ということにしました。今後のワクチン接種に期待しますが、接種したとしても「密」の状態は避けなければならず、行事のほとんどが「密」につながる内容の為、今後の活動に大きく影響するとは避けられないと感じています。

新庁舎完成の寄付金の使途についてご報告します。町とは前回の会報で示したとおり、将来の川西町を背負ってゆく幼児・子供のため、待合室に必要な遊戯類の購入費用に充てる方向で検討を行ってきましたが、このコロナ禍にあつて、キッズスペースはどこも閉鎖しており、早急に今後を見通せないことから、使途については、私たちの気持ちを踏まえ、様々な観点から今後川西町と協議し決定してまいります。

コロナがこんなに長引くと思つた人は少なかつたと思います。ご存じの通り今回のコロナは感染しても症状が出ない場合も多く、一部の医者からは予防対策が難しい「賢いコロ

ナ」といわれ、変異ウイルスも拡大しています。自分でできる予防対策は十分しており、コロナ疲れの方もいらつしやると思いますが、もう一度手洗い・うがい・不要不急の外出自粛等各自が気を付け、再会できるまで頑張りましょう。

コロナ収束を願ひ



川西町長
原田 俊二
(中郡)

土の香りや植物の芽吹きが愛おしい季節が到来しました。皆さんお元氣にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が報告され2シーズン目を迎えました。東京はじめ首都圏の感染収束は難しい状況が続いています。山形も3月下旬から感染者が急増しています。現代社会は、東京を中心に社会経済が活動しており、日本全体に大きな影響を与えています。世界の祭典東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、感染収束は待ったなしです。感染予防や重症化防止の切り札としてワクチン接種が始まりました。

医療機関、65歳以上の高齢者、基礎疾患をお持ちの方と順次広がる予定ですが、そのスピードは遅々としています。4月中旬に高齢者用に配分される山形県のワクチンは57箱、町には第4週に1箱届きます。487人分を5月6日から接種を始めますが、それ以降の配分はまだ示されず、希望者への接種がいつ完了できるかまだ見通せません。先進国と自負していた日本が、ワクチンを外国に頼らざるを得ず、国民の命を守るという使命が置き去りにされている感じがします。スムーズな接種により重症化や蔓延防止が図られ、早く以前のような当たり前の生活を取り戻したいものです。

役場新庁舎が完成し、5月6日にオープンします。設計・施工の技術の粋を集め、堅固で機能的な素晴らしい庁舎です。田園に映える姿は町のシンボルとして町民の皆さんの誇りになると思います。執務室は職員の間線を考え働きやすく、さらなる町民サービスの向上をめざします。この度は東京川西会様から記念品を賜りありがとうございます。ぜひ会員の皆様にもご覧いただきたいと思ひます。

今年は新型コロナウイルス克服、地域再生が大きなテーマとなります。また頻発する自然災害に対する備えも課題

です。町民一人一人の暮らしを守り、安全で安心な町を次世代に引き継いでいかなければなりません。今年度の事業も、昨年のように軒並み中止ということではなく、感染対策に十分注意しながら、どうしたら実施できるのかを考えることが大切です。すべての皆さんと力を合わせ、withコロナの時代の新しい生活様式を確立していきたいと思えます。皆さんと元氣にお会いできる日を楽しみにしています。

役場新庁舎完成



川西町議会議長
鈴木 幸廣
(中郡)

東京川西会の会員の皆様方には、お元氣にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

令和2年12月13日に前議長の加藤俊一氏が急逝され、1月29日の議会臨時会において議長職に就任することになりました。今後は、故加藤前議長を手本としながら議会運営に取り組んで参りますので、何卒ご指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、令和2年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、さまざまなイベントが中止となり、本町の観光事業や飲食業の皆様には大変ご苦労をされております。山形県においては、感染者数は3月上旬の時点で543名となっており、本町での感染者は延べ12名であります。このようなことから、町民の皆様は自粛生活を余儀なくされ活気が消えつつあります。東京川西会の皆様におかれましても、新型コロナウイルスには感染なさらないよう、くれぐれも予防対策に努めて頂き早期に以前のような生活ができるよう願うばかりです。

暗い話ばかりでなく明るい事もありません。役場新庁舎の建設が間もなく完成し、令和3年5月6日に開庁予定となっております。「町民の暮らしを守る庁舎」を基本方針の一つに掲げ、町民の生命と財産を守り、安全・安心の確保や災害時における円滑な復旧・復興を図るため、十分な耐震性・安全性を備え、発災時に迅速に対応できる災害対策本部機能を持つ庁舎として整備されました。結びに、新型コロナウイルス感染症もワクチン接種がいよいよ始まり終息に向かって行くと思われれますので、終息後は是非会員の皆様におかれましては来町して頂きますことと、健康で

活々とお過ごし下さいませようお祈り申し上げます。

川西町の最新情報

▼画面の向こう側へ町の魅力を届けます

コロナ禍において直接顔を合わせた交流が難しい状況の中、町では外郭団体「やまがた里の暮らし推進機構」と連携し町を知る人知らない人、多くの人に向けて町の魅力発信を行っています。会報第85号内A町の最新情報Vでお伝えした「オンラインマメテン」に引き続き、毎年恒例の「大人のインターンシップ」、「紅大豆味噌づくり」をオンラインで開催しました。

2月20日開催の大人のインターンシップ「〇×クイズで巡る雪国オンラインツアー」では、町に住む「おもしろい人」達が町内各所から町に関する〇×クイズを出題。クイズ大会の参加者の中から、優勝を勝ち取った町内出身の参加者よりコメントをいただきましたので紹介します。『東京出身の彼と川西町出身者の私で参加し、優勝させていただきました！クイズはバラエティ豊かで新しい発見もあり、楽しい時間を過ごせました。米沢牛（優勝賞品）を初め

て食べた彼は、「今まで食べた牛肉の中で圧倒的に一番美味しい。」とにんまり。コロナが落ち着いたら彼を川西に案内して、リアルツアーをしたいです！』

町内外からの参加者の皆さんは、大人のインターンシップならではの学び・遊びを楽しみながらご自宅にて町を巡る旅を満喫されたようです。2月28日開催の紅大豆味噌づくりでは、参加者の皆さんが仕込みの段階から自らの手を加える味噌づくりを体験しました。



味噌の食べ頃は12月頃ということ、参加者の皆さんは自分自身で作

った特別感のある味噌を美味しく食べられる日を心待ちにしていることと思います。

今後も川西町のあたたかな雰囲気や魅力を町内外の方々にとっぷりとお伝えできるよう交流事業に取り組んで参ります。

○お問合せ…町まちづくり課

0238 (42) 6613

やまがた里の暮らし推進機構

0238 (54) 3006

▼多くの世代に向けた町の観光

・ハーブガーデン

川西ダリヤ園に隣接する置賜公園ハーブガーデン。1000㎡の敷地に約100種類のハーブが心地よい香りとともに花を咲かせます。ハーブが見頃を迎える6月中旬から7月上旬にかけて開催される「置賜公園ハーブガーデンフェア」期間中は、ハーブの摘み取りやクラフト体験のほか、町内飲食店においてはハーブをふんだんに使用した限定メニューが提供されるなど、町内はハーブにまつまれた空間となり癒しの時間が流れます。

・ダリヤ園

川西ダリヤ園では、昨年9月21日に開園60周年を迎え、コロナ禍

ではありましたが来園された沢山の皆様とともに思い出深い時間を過ごすことができました。今年は、新たなターゲット層として20代女性に着目し、若年層の方にもダリヤ園に興味を示してもらえるようモダンな雰囲気が目を惹くデザインのポスターを選考し、新規ファンの獲得を目指します。



・伊達四十八館

東北六県の自治体や観光関係者、JRなどが一体となって行う大型観光キャンペーン「東北デスティネーションキャンペーン(東北DC)」。

本キャンペーンは令和3年4月から

9月まで行われ、震災から10年の節目である今年は、今まで以上に東北のパワーを集結し東北の魅力を国内外へ発信・東北観光のブランド化を推進します。

川西町がゆかりあるものとして、「伊達四十八館」を巡るイベントの開催を予定しています。戦国時代に米沢を拠点としていた伊達家。領地を防衛するために家臣団によって置賜各地に「伊達四十八館」と呼ばれる城館群を築きました。本町にも「原田城」などの城館が残っており、伊達家との縁により新たな観光資源の発掘に向けた観光プロモーションを進めていきます。



○お問合せ…町産業振興課
0238 (42) 6668

▼ふるさと川西の「今」を覗いてみませんか？

この度川西町では、公式YouTubeチャンネルを開設しました！3月時点では、過去のふるさとCMの映像をご覧いただくことができます。今後、年に数本の新作動画を更新する予定です。町公式Facebookと併せてぜひご覧ください。(詳しくは町ホームページをご覧ください。)

また、やまがた里の暮らし推進機構公式YouTubeチャンネル「やまがた里の暮らし」でもふるさと川西の農業風景や空き家バンクの情報など様々なジャンルの動画を掲載しています。そちらもぜひご覧ください！

東京川西会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。誰もが経験したことのない生活の始まりから、一年以上が経ちました。一刻も早く日常を取り戻すべく、日々多くの方が力を尽くしています。ですが、私たちが望む生活にはまだまだ遠く、昨年度は町・地区の事業、東京川西会の事業もほとんどのものが例年通りの開催とはなりませんでした。定期総

定期総会の当面の延期により、当初の総会で議決頂く事業報告・決算報告・監査報告・役員体制・事業計画・予算案などについて、今年もご審議いただくことができなくなりました。

つきましては今回も本号に掲載の資料をもってご提案とさせて頂き、特段のご意見がなければご承認いただいたものとして扱わせていただきますので、ご理解のほど宜しくお願いいたします。もし重要なご意見等ございましたら事務局までご連絡頂き、総会開催が可能となった時に修正のご提案をさせていただきます。

令和2年度総会の議決事項

会の延期が決定し、役員の皆様におかれましては大変心苦しい決断であったと思います。会員の皆様にとつて、友人との再会を果たす大切な場となる総会の開催、また、今年度計画している様々な事業が一つでも多く開催できることを祈るばかりです。そして現在の状況が落ち着いたら頃、皆様のふるさと川西町で「ただいま」「おかえり」の言葉を交わせる日を楽しみに、令和3年度も前へ進んでまいります。これからも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

(町担当…濱田)

第1号議案

令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

今期は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら年3回の会報発行以外は、総会、いも煮会、研修忘年会、各地区行事、故郷への交流ツアーなどの一切の事業を実施することができませんでした。このため、個別の事業内容の記載は割愛させていただきます。

第2号議案

令和2年度一般会計決算報告(案)

令和2年4月1日～令和3年3月31日

[収入の部]

科 目	決算額	予算額	増 減	摘 要
前年度繰越金	451,798	451,798	0	
年会費	270,000	300,000	-30,000	@2,000*135会員
助成金	0	81,000	-81,000	川西町
広告収入	54,000	60,000	-6,000	会報広告掲載料
総会参加費	0	0	0	中止
黒べこ参加費	0	950,000	-950,000	中止
芋煮会参加費	0	850,000	-850,000	中止
研修・忘年会	0	200,000	-200,000	中止
雑収入	4	5	-1	預金利息
合計金額	775,802	2,892,803	-2,117,001	

[支出の部]

科 目	決算額	予算額	増 減	摘 要
総会費	13,750	0	13,750	会場費キャンセル料
黒べこ	0	950,000	-950,000	中止
芋煮会	0	850,000	-850,000	中止
研修・忘年会	0	200,000	-200,000	中止
会議費	0	100,000	-100,000	
会報発行費	124,148	130,000	-5,852	印刷代
通信費	128,788	120,000	8,788	電話、切手、ハガキ他
印刷費	16,680	16,000	680	各種印刷代
消耗品費	13,128	25,000	-11,872	文具、コピー代他
振込手数料	28,167	27,000	1,167	会費振込手数料負担金
交流費	16,500	80,000	-63,500	加藤議長生花
予備費	0	394,803	-394,803	
次期繰越金	434,641		434,641	
合計金額	775,802	2,892,803	-2,117,001	

次期繰越金 434,641円の内訳 1 現金 119,801円 2 郵便貯金 314,840円

◎創立30周年協賛金特別会計				◎新庁舎建設賛助協力金会計			
[前期繰越金]	162,478			[収入の部]			435,000
[収入・支出の部]	0			[支出の部]			0
[次期繰越金]	162,478	(全額郵便貯金)		[次期繰越金]			435,000(全額郵便貯金)


第3号議案		会計監査報告			
令和2年度について、各帳簿・関係書類を監査した結果、適正に処理されていると認めましたので報告いたします。					
令和3年4月8日					
				監事	佐藤 茂
				監事	高梨 貞夫

第4号議案		令和3年度 東京川西会役員(案)															令和3年5月 定期総会日から		令和5年5月 定期総会日まで								
監事		理事															顧問		役職								
高梨	佐藤	渡部	高橋	原田	鈴木	村田	瀧澤	河原井	星野	高橋	奥村	奥村	大森	遠藤	鈴木	名取	伊藤	森	須貝	高橋	佐藤	森田	笹木	神野	米野	氏	名
貞夫	茂	俊明	宮雄	史歩	信一	忠一	浩	敬子	輝子	雅彦	洋二	健二	啓子	房雄	茂	清雄	健利	功	喜夫	良暢	誠	光雄	俊雄	民夫	宗禎	名	
小松	中郡	吉島	吉島	中郡	玉庭	小松	小松	小松	大塚	犬川	犬川	犬川	犬川	犬川	玉庭	中郡	玉庭	小松	大塚	犬川	犬川	大塚	吉島	玉庭	小松	出身	
															変更							変更					摘要



第5号議案		
令和3年度事業計画(案)		
		自 令和3年 4月 1日 至 令和4年 3月 31日
年 月 日	項 目 内 容	備 考
令和3年4月4日(日)	埼玉地区行事 お花見	中止
令和3年4月10日(土)	第1回理事会 定期総会打ち合わせ	延期
令和3年4月15日(水)	会報 第86号発行	
令和3年5月8日(土)	第2回理事会 定期総会最終打ち合わせ	延期
令和3年5月16日(日)	第35回定期総会・懇親会	延期
令和3年6月12日(土)	第3回理事会 (川西夏まつり、黒べこまつり参加)	
令和3年6月20日(日)	神奈川地区行事	伊香保温泉
令和3年7月10日(土)	第1回 正副会長会議	
令和3年8月9日(月)	川西夏まつり	川西町
令和3年9月3日(金)	黒べこまつりツアー・交流会	まどか(泊)
令和3年9月4日(土)	黒べこまつり	ダリヤ公園
令和3年9月11日(土)	第4回理事会 第34回いも煮会打合せ	
令和3年9月15日(火)	会報 第87号発行	
令和3年10月9日(土)	第5回理事会 いも煮会最終打合せ	
令和3年10月16日(土)	いも煮会準備及び町との懇親会	あきる野市(泊)
令和3年10月17日(日)	第34回いも煮会	秋川溪谷
令和3年12月4日(土)	第55回研修会及び忘年会	大橋会館
令和4年1月 日()	東京地区行事	
令和4年1月15日(金)	会報 第88号発行	
令和4年2月5日(土)	第2回 正副会長会議	
令和4年3月12日(土)	第6回理事会 定期総会打合せ	

※ 令和3年度の予定を掲載しましたが、コロナ騒動が治まり実施の時は、改めてご案内致します。



おいしい自然いちはやく、
四季ある幸せ、JA山形おきたま。

山形おきたま農業協同組合

川西支店 / 〒999-0121 川西町大字上小松1735-1
TEL 0238-42-3125 (代) FAX 0238-46-3128

川西経済 / 〒999-0121 川西町大字上小松1034
支店 TEL 0238-42-2150 (代) FAX 0238-46-2354



米沢牛

テラウエア

山形おきたま米

第6号議案		令和3年度一般会計予算(案)		
[収入の部]		令和3年4月1日～令和4年3月31日		
科 目	予算額	前年実績	増 減	摘 要
前年度繰越金	434,641	451,798	-17,157	
年会費	300,000	270,000	30,000	@2,000*150会員
助成金	81,000	0	81,000	川西町
広告収入	54,000	54,000	0	会報広告掲載料
総会参加費等	600,000	0	600,000	当面延期
黒べこ参加費等	950,000	0	950,000	状況によっては中止
芋煮会参加費等	850,000	0	850,000	状況によっては中止
研修・忘年会	200,000	0	200,000	状況によっては中止
雑収入	5	4	1	預金利息
合計金額	3,469,646	775,802	2,693,844	
[支出の部]				
科 目	予算額	前年実績	増 減	摘 要
総会費	600,000	13,750	586,250	当面延期
黒べこ	950,000	0	950,000	バス代、宿泊代他
芋煮会	850,000	0	850,000	材料費、会場費他
研修・忘年会	200,000	0	200,000	研修会・懇親会費用
会議費	100,000	0	100,000	理事会、正副会長会
会報発行費	130,000	124,148	5,852	印刷代
通信費	130,000	128,788	1,212	電話、切手、ハガキ他
印刷費	16,000	16,680	-680	各種印刷代
消耗品費	20,000	13,128	6,872	文具、コピー代他
振込手数料	27,000	28,167	-1,167	会費振込手数料負担金
交流費	70,000	16,500	53,500	川西夏祭り、友誼団体総会出席
予備費	376,646	0	376,646	
次期繰越金		434,641	-434,641	
合計金額	3,469,646	775,802	2,693,844	
◎創立30周年協賛金特別会計(案)		◎新庁舎建設協賛金会計(案)		
[前期繰越金]	162,478		[前期繰越金]	435,000
[支出の部]	0		[支出の部]	435,000
[次期繰越金]	162,478			0

事務局長退任にあたって



東京川西会事務局長
佐藤 誠
(犬川)

新型コロナウイルスの感染が中々衰えないこの頃、会員の皆様にはお元気に過ごさしめたいとお慶び申し上げます。

私こと、この度事務局長の大役を退くことになりました。森田会長には色々とお力添えを頂き、後任には、広報委員長の鈴木 茂さんをお願いすることになります。

平成二十一年の総会で、事務局長に推薦され十二年間何とか勤めてまいりました。これも会長、役員、会員、川西町の皆様のご指導、御協力のおかげと感謝申し上げます。

振り返れば、年間行事で、定期総会、川西夏まつり参加、黒べこまつり参加、いも煮会、忘年会、各地区の行事等楽しい思い出が一杯です。しかし昨年二月以降、新型コロナウイルスの影響でこれらの行事が取り止めとなりました。一刻も早い収束で皆様にお会い出来る事を望みます。

今後は副会長として、微力ながら東京川西会の発展に協力したいと思っております。

以上簡単ですが、退任の挨拶いたします。有難うございました。

新庁舎の姿

新庁舎の外観をご紹介します。5月6日オープンとのこと、コロナが明けましたら、是非お邪魔したいものです。



新庁舎建設賛助協力金の御礼

前号以降、協力を頂きました。有難うございます。

金五千円也

松戸市(中郡) 佐藤 茂様

編集後記

会員の皆様、お元気ででしょうか。コロナに閉じ込められてはいても、ようやくワクチン接種の足音が聞こえ、川西町新庁舎のオープンの日が迫ってくると、春がそこまできているのかと心が浮き立ちます。

コロナでは「まん延防止等重点措置」が一部の府県に発出され、マスク会食の義務化などが話題になっていきます。私もこれこそが急所の一点と考えてきましたので、隔靴搔痒のはがゆさからようやく解放されそうです。ただ、罰則で縛るのではなく、例えばマスク会食をしていただいているお客様にはお店からお酒の肴を一品無料でお出しするなど、喜んで協力したくなる仕組みが大事ではないでしょうか。

競泳女子の池江璃花子選手のオリンピック出場決定、白血病をねじ伏せ、闘病による体力低下を乗り越えての快挙に日本中が湧きました。この感動は、オリンピック・パラリンピックの開始とともに瞬く間に世界中を勇気づけるものと思えます。武士道にも通じる日本人の強さを見せつけていただいたようで門外漢ながら誇りに感じました。

今回の役員改選案では、12年の永きにわたり事務局長という要職を会を支えて頂いた佐藤誠さんが副会

長になり、不肖鈴木が後任をお受けすることになりました。要領を得るまで、しばらくはご迷惑をお掛けすることになるかと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。

東京川西会 会報 No.八十六号
発行「アルカディアの里」東京川西会
発行責任者 会長 森 田 光 雄
編集人 広報委員長 鈴木 茂
電話 090-4952-3397
連絡先 事務局 佐藤 誠
横浜市保土ヶ谷区岩崎町十八・四八
電話 045-333-8368

商品の発送承ります

かわにしのいいものを集めた『かわいい』

かわにし 森のマルシェ



〒999-0122 山形県東置賜郡川西町大字中小松2534
TEL 0238 (42) 6664 FAX 0238 (42) 6665